



朝夕、すっかり冷え込んでいます
紅葉した木々の葉っぱが 次々と舞い散り
冬の訪れを待っています



子育てのシェアでつながりあう地域

社会福祉法人 子供の家
児童養護施設 子供の家
施設長 早川悟司

私が勤務する子供の家は、児童福祉法に基づく児童養護施設です。何らかの事情から家庭で生活できない子どもたちが生活しており、里親等も含めて「社会的養護」と総称されています。近年、国は里親養育を推進し、ひいては特別養子縁組によって別家庭の子どもとなることを志向しています。これについて、私は常々強い違和感と危惧を抱いています。

社会的養護の背景には、子育て家庭の孤立や、経済面を含めたゆとりのなさがあります。これらに対する手立てを後回しにして、子どもを家庭や地域から引き離しても、子どもにとって真の利益には結びつかないことが多いと考えています。

もちろん、里親さんも、施設職員も、お預かりした子どもの支援を一生懸命にしています。けれども、社会的養護にたどり着く前の子育て支援を、地域の中で充実させていくことの必要性を、一層感じます。「産んだのだから、育てて当たり前」、「産んだのに自分で育てないのは無責任」と減点主義で親を追い込むのではなく、子育てをシェアすることで繋がりあえる地域を目指したいものです。ピッコロさんの実践も学びながら、私たちの法人でもできることを模索しています。



「清瀬市子ども家庭支援関係者・団体連絡会」について



「子供の家」施設長の早川氏が発起人である「清瀬市子ども家庭支援関係者・団体連絡会」にピッコロも参加しています。昨年より始動し、虐待防止月間でもある11月17日は、清瀬市けやきホールにおいてシンポジウムが開催されました。

シンポジウムは、最初にタレントのサヘル・ローズさんがイラク・イラン戦争で孤児になり壮絶な生活から、素敵な養母に救い出され、来日したというお話を対談形式でされました。次に、清瀬に引っ越して来てホームスタートを利用し、子育てに前向きになれたというママの話。学生時代引きこもっていたところ、子ども食堂に行くようになり、今ではスタッフになっているという青年の話。家出をして、保護された養護施設から進学し、東大合格を目指している高校生の話と続きました。発表してくれたみなさん、それぞれが今の人生を頑張っている様子から、人と人のつながりを感じ、心が温くなる内容でした。



ホームスタート世界会議 2017 HSフレンドシップ・モーニング

グローバルカンファレンスにご寄付いただいた
ピッコロのみなさま、ありがとうございました。

11月7日(火)10:30 渋谷にある国連大学の国連大学 ウ・タント国際会議場において、世界大会のオープニングとして全国ボランティア交流研修会及び国際シンポジウムが行われました。

今回の大会には、世界21ヶ国（カナダ・イギリス・アイルランド・オランダ・フランス・ギリシャ・マルタ・ノルウェー・デンマーク・ラトビア・ポーランド・チェコ・ウガンダ・ブルンジ・タンザニア・ザンビア・南アフリカ・スリランカ・オーストラリア・シンガポール・日本）から、ホームスタートの活動をしている方々が参加しました。日本からは39地域のオーガナイザーやホームビジター、トラスティ（運営委員）が参加し、ピッコロからは実行委員、通訳ボランティアを含めて10名の会員さんが参加しました。それぞれ持ち場での参加でしたが、50名もの海外の方がいらっしゃる場所は初めてで緊張しました。しかし、同じホームスタートの活動をしている仲間だからこそお互いに親しみやすい雰囲気、楽しい時間を過ごすことができました。

東京に集う3年に1回開催のHSワールドワイド・グローバル・カンファレンスの機会を活かして、皆さんと一緒にフレンドリーな子育て支援訪問ボランティア活動の輪を広げるために、フォトコンテストが企画され、世界の応募作品の中からピッコロの写真が「ホームスタート・フレンドシップ賞」を受賞しました。海外のホームスタートの利用は以下の感想にあるように、まさに直接命にかかわるような支援となっており、日本の平和を感じたところです。



お風呂上りに、パチリ！

下のお子さんもいるから、なかなかゆっくりお風呂に入れませんが、ビジターさんがいてくれるから上の子どもとゆっくりお風呂に入れます。ママに甘えられて満足なおねえちゃん。

♥ 感謝 ♥

日本のホームスタートの活動を支えてくださっている「ホームスタート・ジャパン」がホスト国として準備をしてくださいました。寄付集めからのスタートでしたので、その苦労はどんなにか大変だったと思います。

グローバルカンファレンス実行委員のみなさま、ジャパン事務局のみなさま、このような素敵な体験をさせてくださり、ありがとうございました。

参加感想

グローバルカンファレンスに
参加してきました！
ホームビジター-Y/F

当日は、世界21ヶ国からHS関係者、ビジター、通訳さんなどで活気に溢れ、「♪あたま・かた・ひざ・ボン」の歌を英語やフランス語で歌って踊って、笑顔でスタート。通訳が聞けるヘッドホンを耳に、世界の子育ての現状やHSの利用例などの報告を聞き、日本との違いに驚きました。（ウガンダなどのアフリカの国では、作物の種を配って、食べたり売ったりできる様にするサポートやトイレを作るなど衛生面のサポートがあったり、オーストラリアや北欧ではDVやドラックによる心のケアでの利用が多かったりするそうです。）HSが、利用者の心に寄り添うからこそ、どんな家族のニーズにも対応し、カスタマイズできる、柔軟な素晴らしいサービスであることを学ぶことができました。

休憩時間には、おいしいランチや世界のお菓子で交流し、おなかも心も大満足！ミニ人形やお花紙を使った、ピッコロ力作のテーブルセッティングやピッコロがお世話になっている先生が活けてくださったお花が会場を華やかにしていました。



人の温かい繋がりを感じながら・・・

支援者 S.K

ピッコロは今年20周年を迎えましたが、私の長女も20歳。ピッコロと同一年です。確か長女が2歳の時に入会、初めはもちろん依頼会員です。知り合いも友達もない清瀬での子育て、ピッコロの存在は私にとって、どんなに心強かったことか。3人の子ども達は皆ピッコロで育てて貰ったようなもの。ピッコロのおかげで仕事ができるようになったし、子育てには、人の温かさ、地域との繋がりがとても大事ということ気付かせてもらいました。道を歩いて「こんにちは」とあいさつができる。ベビーカーに乗っている我が子を見て「大きくなったね」と声をかけてもらえる。そんな何でもないことが、とても嬉しく思いました。1人で頑張らなくてもいいのよ！

困った時や助けて欲しい時には、誰かに甘えてもいいのよ、頼ってもいいのよと、ピッコロの存在で、やっと身体のが力が抜け心が楽になりました。提供会員になり、ピッコロの活動をする時には、いつも私を感じた思いを胸に、そしてお子さんが安心安全の中で過ごせるようにと、心掛けています。



子育ては一人ではできないもの

利用者 N.S

1歳7か月の男の子の母親です。清瀬には2年前に引っ越してきました。当初は周りに知り合いもなく、実家は遠方で一人で子育てするしかないな、と思っていました。引っ越してきてから働いた職場は8割位が子育てをしながら仕事をしていて、託児所もあり恵まれている環境ではあります。子育ての先輩が多いので、相談に乗ってくれたり、経験談を教えてくれたりと心強いです。突然の子どもの発熱などの時にも、気兼ねなく対応してくれます。同僚からは、「仕事は誰かが代われるけど、ママは一人だからね」と言ってくれてとてもありがたいです。連続して子どもが休みそうな時や勤務交代できない時に、ひとり親制度とファミリーサポートを利用しながら仕事に行っています。子どもの熱や病気は突然なので、急な依頼でも対応して下さり、感謝しています。ほかの地域のママ友に聞いてもこのような制度はあまりなく、清瀬は子育てに力を入れていると市長さんも話していたので、働くママや忙しいママにはとても良い制度だと思います。

月に2～5回程度利用しますが、来て下さる方は皆さん子育てのベテランの方々に、子どもも泣かずに一緒にいてくれ、安心して仕事に行けます。以前は一人で「何とかしないといけない」と頑張りすぎて空回りしている時がありました。少しでも周りの人にヘルプや相談をお願いしたら楽になりました。やはり子育ては一人ではできないものです。

子どもはとても敏感で、私が疲れてウトウトしていると顔を近づけてきて、「ママ」とニコっとしたり、私の布団をもってきて「ママのねんね」と言ってくれます。最近では自分の食べた食器の片付けや掃除の真似をしたりお手伝いを楽しんでいます。ほめるとまた喜んで手伝ってくれます。忙しい日々ですが、子どもの成長や笑顔に癒され励みになります。

また、最近は病時以外で、私の用事があるときにも利用しています。健康な時にも、子どもを預けて美容室に行ったり、研修に行ったりして、リフレッシュすることで余裕もできて、また子どもと向き合うことが楽しいです。ママが楽しい、笑顔だと、子どもも自然と楽しそうで、相乗効果があると思います。このような制度がある清瀬で子育て出来て良かったです。周りのすべての方に感謝しています。

皆さんにももっと知って頂いて、将来の大事な「宝」の子ども達が住みやすく、子育てしやすい清瀬が続くように願っています。

《会員状況 2017. 11. 30 現在》正会員 62 名・準会員 134 名・賛助会員 11 名（個人 7 名・法人 4 名）

◇3,000 円以上寄付者・19 名

*NPO の活動を維持していくため、寄付ばち袋を用意しています。お気持ちをお願いします。

♥賛助会員♥
(法人)

新鮮こだわり中国料理
同心居

Healthy & Comfortable
H&C
(株) 関工務店

●宇都宮レディースクリニック
●宇都宮小児科内科クリニック
●スガハラ印刷

10 月～11 月の動き		— これからの活動予定 —	
○ピッコロ	△K-net、つどいの広場	◆ファミサポ	HS=ホームスタート HV=ホームビジター
10/2(月)○正会員のつどい△K-net 運営会議		12/1(金) 10:00～○正会員のつどい(けやきホール/第3会議室)	
◆サブ/アド 調整会議		18:30～○支援者交流会(カラオケ店ブルドック)	
10/4(水) ◆保育サービス講習会開校式～11/2(木)		12/3(日) 10:30～◆第二回全体交流会「リサイクルひろば」	
10/7(土)～8(日)○アイレックまつり		(ころぼっくるホール)	
10/10(火)◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)		12/4(月) 9:15～ ◆サブ/アド 調整会議(事務所)	
10/11(水)△K-net 中里子育てひろば		10:00～○養育支援養成講座(ころぼっくる2F 会議室)	
○視察(社事大生)		10:30～△K-net 運営会議(事務所)	
10/13(金)△K-net ひろば(ファミサポ 説明)		12/5(火) 10:00～ODD ユニット調整会議	
10/14(土)○ピッコロルーム職員会議		12/6(水) 18:30～○第 47 回理事会	
10/17(火)○地域まるごとケアのまちづくり		12/8(金) 10:00～△K-net ひろば(ファミサポ 説明/アイレック)	
10/20(金)◆全国アドバイザー交流研修会		12/9(日) 9:30～ ○ピッコロルーム職員研修(第 4 会議室)	
10/23(月)△K-net リフレッシュ講座/沖縄料理		13:00～ ○ピッコロルーム職員会議(第 4 会議室)	
10/27(金)△K-net ひろば(ファミサポ 説明)		12/11(月) 10:00～○女子医大・東京医大調整会議	
10/28(土)○ふれあいまつり		12/12(火) 12:30～◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)	
○ルーム保育士研修「わらべうた」		12/13(水) 9:30～○養育支援養成講座(ころぼっくる2F 子ども会議室)	
10/29(日)○きよせこどもまつり		12/14(木) 9:00～○ルーム保育士研修「わらべうた」	
11/1(水) ○定例会		9:00～◆緊急連絡体制確認会議(子ども家庭支援センター)	
11/6(月) ◆サブ/アド 調整会議△K-net 運営会議		13:00～○サンクスギビングデイ(グリーンステージ 2F)	
△つどい調整会議		12/17(日) 13:30～○養育支援養成講座(ころぼっくる2F 会議室)	
11/7(火)HS 世界会議日本開催記念『国際シンポジウム』		公開講座 都立小児総合医療センター副院長	
11/8(水) HSW-GC トレーニング・カンファレンス		田中 哲氏「精神的な課題を持つ家庭への支援」	
オーガナイザー研修会		12/25(月) 9:30～○責任者会議 13:30～△つどいの広場調整会議	
11/10(金)△K-net 子育てひろば(ファミサポ 説明)		1/5(金) 10:00～ ○定例会(アイレック会議室)	
HV ホームビジター研修交流会		1/9(火) 9:30～ △K-net 運営会議(事務所)	
「ピッコロの活動紹介と海外のホームスタートを学ぶ」		1/10(水) 9:15～ ◆サブ/アド 調整会議(事務所)	
11/11(土)○ピッコロルーム職員会議		1/12(金) 10:00～△K-net ひろば(ファミサポ 説明/アイレック)	
11/13(月)◆第 1 回スキルアップ研修会		1/13(土) 9:00～ ○ピッコロルーム職員会議(事務所)	
◆ネットワーク会議		1/15(月) 9:30～ HS ホームビジタースキルアップ研修会(傾聴)	
11/14(火)◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)		1/16(火) 12:30～◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)	
11/17(金)○清瀬市子ども家庭支援関係者・団体連絡会主催		1/22(月) 10:00～△K-net リフレッシュ講座/きりたんぼ鍋	
「シンポジウム 私たちにもできる！		(消費生活センター)	
すべての子どもに居場所とつながりを」		1/29(月) 9:30～ ○支援者研修会(けやきホール/セミナーハウス)	
11/18(土)○ルーム研修会			
11/20(月)ODD ユニット調整会議			
11/23(木)△子育てひろばフェスタ(ころぼっくる)			
11/26(日)△K-net リフレッシュ講座/ストレッチ			
11/27(月)△子育てサポーター養成講座			



《編集後記》

「ホームスタートの国際会議が行われ、参加された5人の海外のお客様を清瀬にお迎えした。その中でホームビジターの方がアコーディオン演奏をしてくださった。幸せなら手をたたこう」と一上を向いて歩こう」をみんなで歌った。私たちが英語ではなく、日本語で歌ったが海外の方には理解されているような雰囲気を感じ、歌が持つ不思議な力を感じた。毎年開催されている支援者交流会もピッコロのイベントなどが重なり、今年はカラオケになった。初め顔を含め合わせる人もいて、どんな会になるか。

子どもとどうやって遊んでいいかわからないという家庭にホームビジターが入って、訪問の最後に「幸せなら手をたたこう」をみんなで歌ったそうだった。母は親が歌を歌うことすら久しぶりで、だが、歌うことになると、だんなに任せない気持ちは、子どもと歌を歌うことは、子どもと、ちょっと自信がついたと話す。

ホームビジターは無償の支援だが、ボランティアは大きな役割は大きい。